

【議案第4号】

令和5年度NPO法人北海道遺産協議会事業計画（案）

北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン(2016策定)

	短期(2016～2017年)	中期(2018～2020年)	長期(2021～2025年)	以降
I 人材育成	<p>人材育成プログラムの検討</p> <p>・大学等との連携</p>	<p>「北海道遺産ラボ」開始</p> <p>・各地域で遺産の保全・活用を担う人材の育成</p> <p>・選定地域の方、こうした取組みに関心を持つ学生等を対象</p> <p>・遺産所在地における実地研修等</p>	<p>遺産に関わる人・組織の増加</p>	<p>地域が主体となった北海道遺産の持続可能な保全・活用による北海道の活性化</p>
II 遺産の価値向上・発信	<p>追加選定等の方法の検討</p> <p>日本遺産への申請支援</p> <p>「北海道ヘリテージウィーク」開始</p> <p>北海道遺産フォトコンテスト</p> <p>・幅広い世代での認知度向上</p> <p>・地域遺産保全に関わる団体との連携強化</p> <p>Webサイト、アプリを活用したPR</p>	<p>追加選定の実施(2018年)</p> <p>・北海道命名150年</p> <p>・新たな枠組みでの北海道遺産構想のスタート</p>	<p>遺産の認知度向上・プロパゲンダ</p>	
III 支援のしくみの構築	<p>金融機関等との連携を視野に入れた支援の枠組みの検討</p> <p>正会員・サポーターの増加</p> <p>収益事業の強化</p> <p>事務局・地域支援体制の強化</p>	<p>金融機関・企業等との連携による地域遺産保全・活用支援制度の創設((仮)北海道ヘリテージファンド)</p>	<p>持続可能な支援の仕組み構築</p>	

<令和5年度のポイント>

● 担い手との連携強化

「北海道遺産」の魅力は、多分野にわたる遺産や熱心な担い手が各地に存在することが大きなポイントのひとつである。そうした魅力的なまちやひとが「北海道遺産」で繋がっていることの価値を活かし、担い手が交流や連携事業などを展開することのできる「北海道遺産ネットワーク」づくりを促進する。北海道遺産の将来構想の検討などにおいても、各地の担い手の「かかわりしろ」をもった事業展開を図り、地域の現状を踏まえた北海道遺産構想の推進を行う。

● “ひと”がみえる「北海道遺産」の発信

第4回選定は多くのメディアに取り上げられ「北海道遺産」の認知度は高まっているが、地域の担い手の姿や北海道遺産に関わってきた人々の思いなど、北海道遺産を形作っている物語を更に深く知っていただくため、“ひと”に焦点をあてた情報発信を行い、「北海道遺産」の認知度の向上と人々と共にある地域遺産の価値を伝える。

● 社会連携の強化

昨年度に引き続き、様々な分野の企業・団体等と連携して、担い手の活動支援へと繋がる社会連携の強化を図る。

※今年度事業も、新型コロナウイルスの状況により都度実施の可否を検討する

## <令和5年度事業（案）>

### （1）遺産の価値向上・発信

#### 1）「北海道遺産人」WEBページの制作・発信（通年）

北海道遺産構想や北海道遺産地域を広く周知し、人と共にある北海道遺産の魅力・価値を伝えることを目的に、協議会WEBページの新しいコンテンツとして、これまで北海道遺産を支えてきた人や地域の人々の声を伝える“コラム”を掲載するページを制作し発信する。

〇800千円[普]

#### 2）北海道遺産交流会議の実施（11月）

今年度は交流会議の開催趣旨である遺産関係者の交流・情報交換の場づくりを深めるため、例年のシンポジウム形式の交流会議（本会議）のほかに、テーマごとに意見交換を行う「分科会」を開催し、担い手同士の情報交換や知識の共有の場づくりを行う。

〇900千円[地]

#### 3）北海道ヘリテージウィーク2023の実施（11月）

北海道遺産を多くの人々に周知する機会として、今年度も札幌駅前通地下歩行空間で各地の北海道遺産や助成金活動紹介パネル、フォトコンテスト入選作品等の展示を行う。今年度は担い手が参加する地域活動PRブースを設置して担い手の皆さんの発信の場として活用していただく。開催時期は地域の担い手が参加しやすいように交流会議と連動した日程を検討する。

〇1,000千円[普]

#### 4）北海道遺産フォトコンテスト2023の実施（募集期間：7月17日～9月末）

今年度も北海道遺産をテーマにフォトコンテストを実施。各地の北海道遺産へ足を運んでもらうきっかけとする。入選作品は秋に予定している北海道ヘリテージウィークで展示し、写真により表現された遺産の魅力を多くの人々に知っていただく機会とする。

〇700千円[普]

#### 5）BunkazaiDesignContest2023の実施（10月～3月）

デザイナー・クリエイターの創造的思考により、地域遺産や文化財の新しい見え方・デザインを提案してもらうことで、地域遺産や文化財の魅力をより多くの世代に身近に感じてもらうことを目的として、今年度もデザインコンテストを実施する。また、昨年度のコンテストの入賞作を製品化し、土産店や遺産地域施設などでの販売を目指す。

〇800千円[普]

#### 6）北海道遺産「食プロジェクト」（随時）

昨年度に引き続き、「食」をキーワードにして、新たな角度から北海道遺産の魅力や価値を発信する。WEB等で北海道遺産と食のストーリーを発信するほか、「食」の分野で親和性の高い企業等との連携により、多くの人々が訪れる店舗・施設等で北海道遺産と食の魅力をPRする。

〇50千円[普]

#### 7）シーニックバイウェイ推進協議会（事務局：開発局）との連携事業（通年）

昨年度、包括連携協定を結んだシーニックバイウェイ推進協議会の取組と連携することで、双方の地域の担い手の取組の活性化や人的ネットワークづくり、地域活動の周知などを行う。

〇100千円[普]

## 8) web 等での情報発信と管理運営（通年）

北海道遺産協議会のホームページ、公式 facebook ページ、Instagram、twitter の活用や、クリプトン・フューチャー・メディア(株)が運営する情報発信媒体「Domingo」を活用した情報発信など、北海道遺産協議会について積極的に発信する。

○200 千円[普]

## 9) 会員サービス（随時）

協議会の活動情報、地域の行事情報などを掲載する手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行（年 2 回程度）、正会員・賛助会員・関係者等に送付する。会員への年次特典として、昨年度の、「Bunkazai Design Contest2022」の入賞作品を活用したトートバッグを制作し、暮らしの中でも北海道遺産を感じていただく機会とする。

○300 千円[普]

## 10) その他 PR（随時）

今年度は、当協議会支援企業である伊藤園様イオン北海道様が、10 月に北海道遺産協議会支援企業連携企画を実施予定であり、このイベントに共催・出展を行う。また、例年行っている北海道庁 1 階での展示をはじめ、有料広告等も含めて、北海道遺産の取組みを発信する機会について費用対効果を踏まえ適宜実施する。パンフレットを必要に応じて増刷し、各遺産地域での配布に積極的に活用する。

○1,500 千円[普]

## (2) 支援の仕組みの構築

### 1) 「ほっかいどう遺産 WAON」助成活動支援（7 月～）

「ほっかいどう遺産 WAON」の寄付金を活用して、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、総額 800 万円（50 万円以内/数件）の活動に対する助成を行う。北海道遺産地域の担い手の活動活性化や新たな担い手の巻き込みを目標に、助成先には交流会議への積極的な参加を呼び掛ける。

○8,300 千円[地]※イオン北海道様感謝状贈呈式予算含む

### 2) 「お茶で北海道を美しくキャンペーン」助成活動支援（7 月～）

「お茶で北海道を美しくキャンペーン」寄付金による、各地域への助成（総額 80 万円）を実施。北海道遺産の環境・景観の保全活動に対して助成する。

○800 千円[保]

### 3) 持続可能な支援の仕組み検討（通年）

2016 年に策定したビジョンが長期（2021-2025）の段階に入っているため、今年度はビジョンの検証も含めて北海道遺産の在り方や今後の取組みの方向性について検討を進める。過年度に検討を予定していた、「北海道遺産アーカイブプロジェクト」の検討や、「北海道遺産学」「北海道遺産マイスター」「北海道遺産アンバサダー」を含む担い手育成、子どもたちへの普及活動などについて、将来にわたる総合的なビジョンを作成する中で検討する。検討に当たっては、多様な知見・方法論を持って議論する必要があるため、外部の若手専門家等のアドバイザリーボードを設置する。

また、担い手地域との継続的な交流・情報共有の取組として、協議会コアメンバーが各地に足を運び担い手と意見交換等を行う「ブロック会議」をスタートさせる。

○500 千円[地]

#### 4) 会員拡大(随時)

会員入会促進のために、理事および事務局が積極的に地域に展開する。

○100 千円[普]

### (3) 人材育成

#### 1) オープンラボ(随時)

昨年度に引き続き、地域遺産に関わる人々との学び合い、知識の共有の場としてセミナーを年度内2回程度実施する。

○120 千円[地]

#### 2) 担い手ネットワーク構築(7月~3月)

遺産地域のネットワークづくりの機会として、各地の担い手にご協力いただき、北海道遺産パネルを各地に巡回させPRする巡回展を行う。地域での北海道遺産の普及啓発と担い手との連携促進のため、各地で巡回展示期間中にイベント等が開催される場合は依頼に応じて講師派遣等を行う。

○150 千円[地]

### (4) その他事業について

#### ◆理事会・総会の開催

定期総会(年1回)を実施する。理事会については必要に応じて実施する。

○300 千円[そ]